

# 【図画工作科・小5・「水から発見 ここきれい」①

## 育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 水を使って、きれいと感じる様子を見つけるときの感覚や行為を通して、色の鮮やかさ、動き、バランスなどを理解することができる。
- (思考力・判断力・表現力等) つくったものを撮影し、写真として表すことで、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や考え方を深めることができる。

## ICT活用のポイント

- ・色水で何ができるのかを試し、組み合わせを考えながらきれいと感じた様子を何度も写真に撮る。
- ・撮った写真のうち作品として1つ選び、作品を共有して鑑賞する。

## 【つかむ】

色水で何ができるか試す。単元のめあてをつかむ。

## 【追究する】

色水で造形遊びをする。

きれいと感じる様子を撮影する。

・垂らす ・並べる ・配色を工夫する ・リズム（配置）など。

## 【まとめる】

写真を見せ合いながら、きれいと感じたところを発表し合う。学習内容を振り返る。

## 事例の概要

- 水の形を変えたり、水の色を変えたりし、組み合わせを考え、きれいと感じた様子を写真に撮り、保存する。
- 保存した写真を作品として共有し、お互いの見方、感じ方を伝え合う。

〈単元のめあて〉  
色水でできる形や色のよさを楽しみながら見つけ、写真に撮ろう。

## 【事例におけるICT活用の中心場面】

- 何度でも色水を作り替えて写真を撮る。（何度も写真を撮る。）
- いろいろな角度から写真を撮る。
- 光や影の具合も作品の一部とし、光の当て方も考えて写真を撮る。
- 撮った写真を保存・提出する。
- 保存した写真の1つを作品として、お互いの見方、感じ方を共有する。

# 【図画工作・小5・「水から発見 ここきれい」②】

## 【事例におけるICT活用場面①】

色水を何度も作り替え、試行錯誤しながら、何度も写真を撮る。

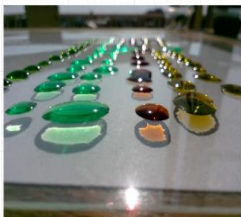


## 【事例におけるICT活用場面②】

撮った写真にタイトルとその理由、自分の感じたことを書き、発表する。

### <児童作品例>

題名 「輝き」



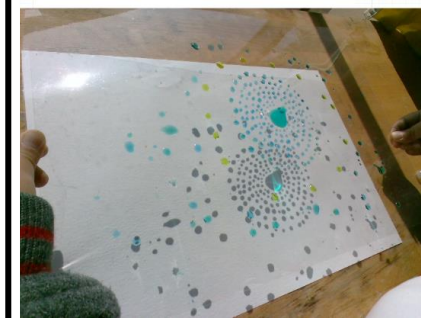
いろいろな色を並べました  
光を当てさせました

時空と未来の水しぶき



映画の時空をこえる時に  
こういう水しぶきがあると  
思ったり、  
未来がこうなってほしい  
から  
名づけました。

題名 「かがやく かげ」



かげも色があって、  
きらきら光ってるから  
です。

## ○学習過程と事例におけるICT活用場面との関係

水と容器を使って、きれいと感じる様子を見つけ、写真を撮る。  
自分で感じたよさや美しさを児童同士で鑑賞し、見方、感じ方を共有する。

## ○ICTを効果的に活用するためのポイント

【事例①】色水を作り替え、角度を変えたり、光の当て方を変えたりしながら何度も試す。

【事例②】保存した写真の1つを作品として選び、鑑賞する場面で、お互いの見方、感じ方を共有する。

## ○児童生徒や教師にとってのICT活用のメリット

- ・何度も撮り直すことができたり、変容を確認したりしやすくなる。
- ・説明しづらいことも、写真を見せることで伝わりやすくなる。
- ・イメージを具体化しやすい。

## ○活用したソフトや機能

学習支援ソフト（データの提出・一覧表示・共有）